

1. 青森県の現状と課題

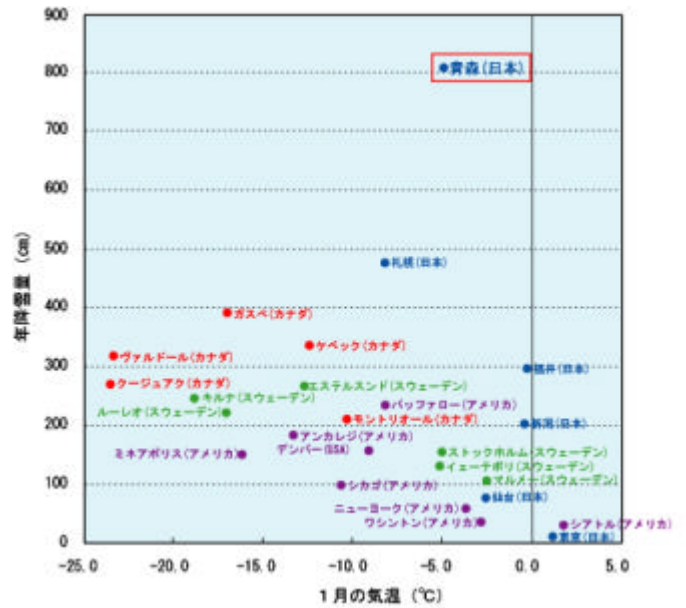
【自然のようすと課題】

世界遺産白神山地や十和田湖・奥入瀬渓流など世界的に誇れる自然を有しており、観光資源としての活用が期待されている。しかし、全国でも有数の豪雪地帯であり、雪による移動の制限と交流機会の減少が懸念されている。また、県中央の奥羽山脈、下北・津軽半島による地域分断・交流の阻害に対応する必要がある。

青森県の自然



世界各都市の気温と降雪量の関係

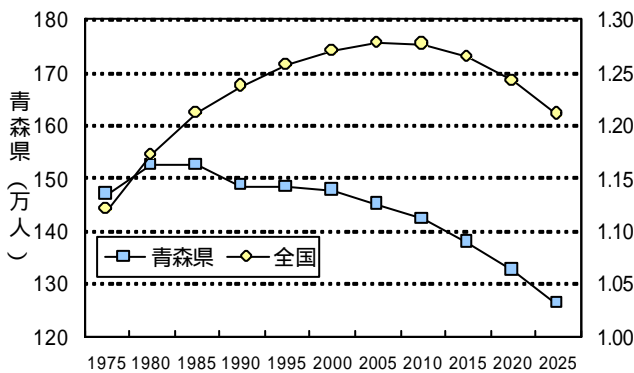


(「Snow & Ice Databook」, 2002 PIARC 第11回 国際冬期道路会議札幌大会 日本実行委員会)

【社会状況と課題】

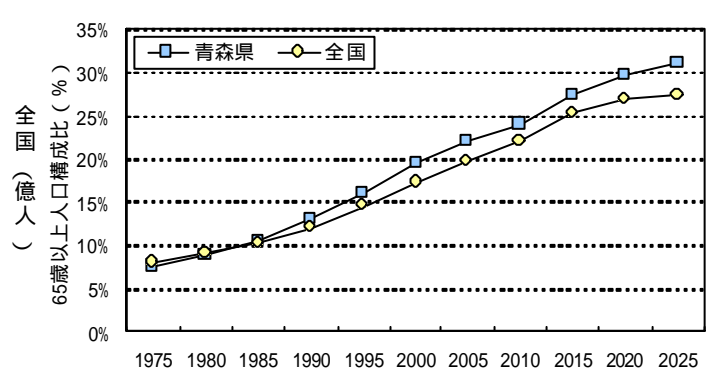
少子高齢化の進展や過疎化の進展が著しく、地域社会の変化に対応した社会像のあり方を考える必要がある。

人口の推移



(国勢調査報告、都道府県別将来推計人口)

高齢者構成比 (65歳以上人口 / 総人口 × 100)

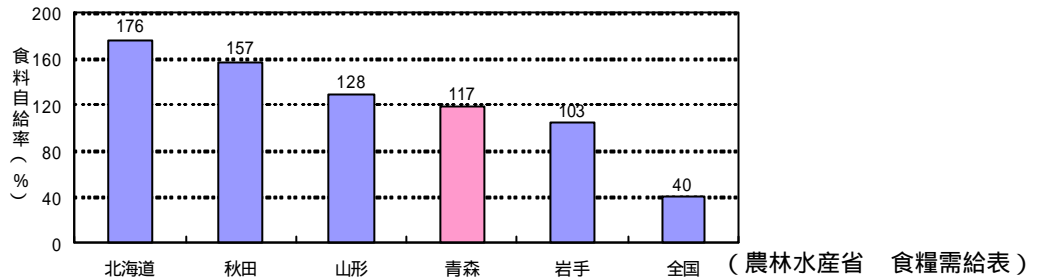


(国勢調査報告、都道府県別将来推計人口)

【経済状況と課題】

主に農業、漁業が盛んであり、全国の食糧供給基地として重要な役割を担っている。今後、更なる振興を図ることが課題である。また、近年観光入込客数が低迷する中、「ねぶた祭」などの観光資源を活かした産業活性化に期待が寄せられている。

食料自給率上位5道県（2000年度）

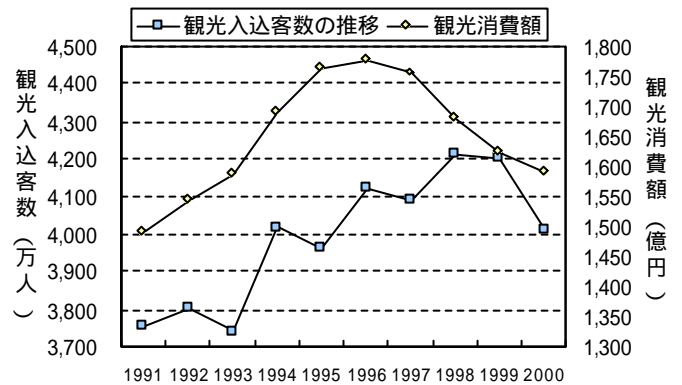


主な農産物・海産品



(青森県統計年鑑 2001、缶詰時報 平成 12 年 7 月、平成 11 年度 野菜生産出荷統計、平成 11 年 農業・養殖業生産統計年報)

観光入込客数・観光消費額の推移



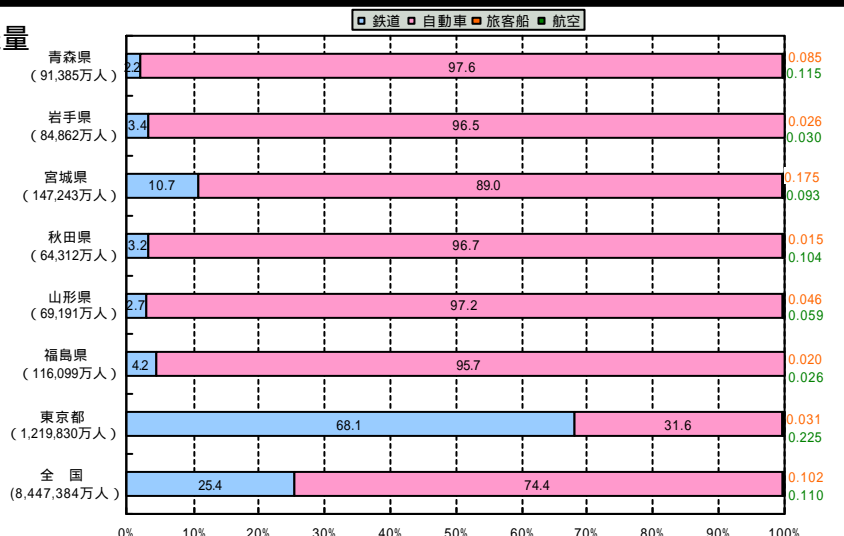
(青森県商工観光労働部文化観光推進課 青森県観光統計概要)

【交通状況と課題】

県内交通では鉄道の利便性が低く、自動車交通に依存している。県外との交通手段では、東北地方でも取扱量の多い八戸港や青森港が立地、空港では青森空港、三沢空港のツインジェット体制が確立しており、また、平成14年12月に東北新幹線（盛岡～八戸間）が開業した。これら交通拠点へのアクセス性向上が課題である。

東北地方における輸送機関別旅客輸送量

(平成12年度)



(平成 12 年度 旅客地域流動調査(平成 14 年 3 月))